

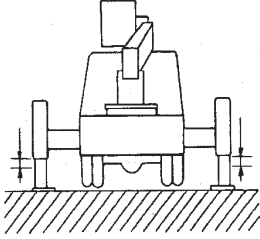
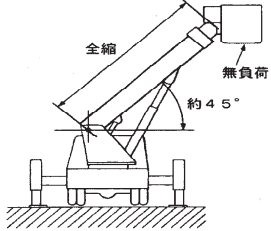
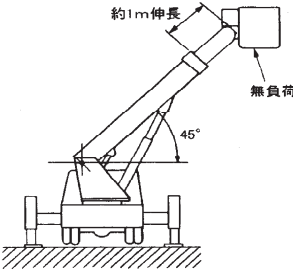
アイチコーポレーション

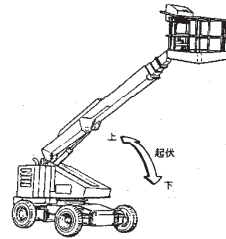
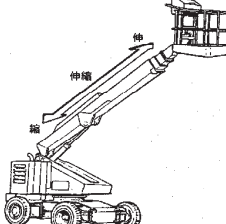
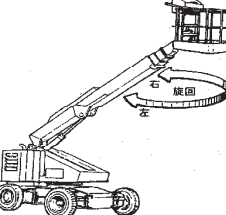
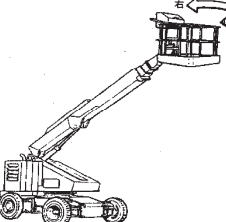
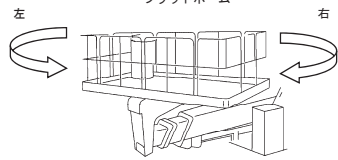
適用範囲		モデル名			SB10A	SB12A	SS12A	SK17A
		適用号機又はスペック番号			STD	STD	STD	STD
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9
			左右	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9
		スライディングパッド	摩耗量	mm	2以下	2以下	2以下	2以下
	バケット	積載		kg	200	200	200	200
	油圧ポンプ	吐出圧 ※ポンプ回転数 作動油 油温		MPa (kg/cm ²)	17.2 (175)	17.2 (175)	18.6 (190)	17.2 (175)
				min ⁻¹	800+50.-0	800+50.-0	750+50.-0	950+50.-0
				—	VG22	VG22	VG22	VG22
				℃	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量 ※1	起伏	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下
			伸縮	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下
			ジャッキ	mm	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下
			ウインチ起伏	mm	—	—	—	—
	安全装置	アースリール線	抵抗値	Ω	—	—	—	—
作業範囲規制装置		規制装置	作業範囲規制	—	—	—	—	○
			モーメントリミッタ	—	—	—	—	—
インターロック		ジャッキインターロック		—	○	○	○	○
		ブームインターロック		—	○	○	○	○
		駐車ブレーキインターロック		—	—	—	—	—
総合テスト	作動速度上部	起伏 ※2-1	上	s	24+4.-2	30±5	30±10	35±7
			下	s	21+4.-3	30±5	30±10	35±7
		旋回 ※2-2	右	s	50+8.-3	60±10	60±10	50±10
			左	s	50+8.-3	60±10	60±10	50±10
		伸縮 ※2-3	伸	s	16+4.-2	25±3	30±10	45±5
			縮	s	15+4.-2	20±3	25±10	40±5
		バケット首振 ※2-4	右	s	18±5	20±5	30±5	25±5
			左	s	18±5	20±5	30±5	25±5
		プラットフォーム旋回 ※2-5	右	s	—	—	—	—
			左	s	—	—	—	—
	作動速度下部	起伏	上	s	24+4.-2	30±5	30±10	55±10
			下	s	21+4.-3	30±5	30±10	55±10
		旋回	右	s	50+8.-3	60±10	60±10	100±20
			左	s	50+8.-3	60±10	60±10	100±20
		伸縮	伸	s	16+4.-2	25±3	30±10	45±5
			縮	s	15+4.-2	20±3	25±10	40±5
		プラットフォーム旋回	右	s	—	—	—	—
			左	s	—	—	—	—

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式

TZ10A	TZ12A	TZ16BFS	TZ20BFS					
STD	STD	STD	STD					
検 査 基 準 値								
2～3	2～3	0.5～0.9	0.5～0.9					
1～2	1～2	0.5～0.9	0.5～0.9					
2以下	2以下	2以下	2以下					
1000	1000	1000	1000					
17.2 (175)	17.2 (175)	18.6 (190)	18.6 (190)					
900+50.-0	900+50.-0	1150+50.-0	1100+50.-0					
VG22	VG22	VG22	VG22					
40±10	40±10	40±10	40±10					
2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下					
2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下					
1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
○	○	○	○					
○	○	○	○					
○	○	○	○					
—	—	—	—					
40±10	45±10	45±10	60±10					
45±10	45±10	45±10	60±10					
60±10	60±10	60±10	75±10					
60±10	60±10	60±10	75±10					
25±10	35±10	40±10	55±10					
25±10	35±10	40±10	55±10					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
60±10	60±10	60±10	67±10					
60±10	60±10	60±10	67±10					
40±10	40±10	45±10	60±10					
45±10	45±10	45±10	60±10					
60±10	60±10	60±10	75±10					
60±10	60±10	60±10	75±10					
25±10	35±10	40±10	55±10					
40±10	35±10	40±10	55±10					
60±10	60±10	60±10	67±10					
60±10	60±10	60±10	67±10					

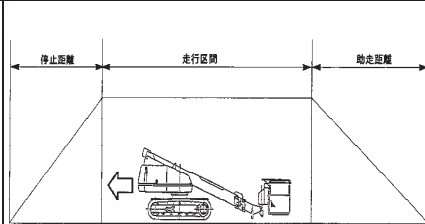
※ 1. シリンダー自然降下量 1. ジャッキシリンダー 〔測定要領〕 1) 車体を水平堅固土上にセットする。 2) エンジン停止させる 3) ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く 4) ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする 5) 1分後、0点を合わせる 6) 10分経過させる 7) 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左) 〔判定基準〕 ジャッキポストのストロークにて 1mm 以内/10 分	
2. 起伏シリンダー 〔測定要領〕 1) ブームを起伏各 45° にセットする 2) エンジン停止させる 3) 起伏シリンダーのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる 5) 10 分経過させる 6) 自然降下量を測定する 〔判定基準〕 ピストンロッドのストロークにて 2mm 以内/10 分	
3. 伸縮シリンダー 〔測定要領〕 1) ブームを起伏各 45° にセットする 2) ブーム長さを 1m にセットする 3) エンジン停止させる 4) 第 2 ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる 5) 10 分経過させる 6) 自然降下量を測定する 〔判定基準〕 第 2 ブームのストロークにて 2mm 以内/10 分	

※ 2. 速度測定方法 〔測定要領〕 1) 車体を水平堅固土上にセットする。 2) 作業車の作業範囲に障害物が無いことを確認する 3) 油温は 40±10℃で行なう 1. ブーム起伏速度 1) ブーム全縮状態で、起伏下操作により「下」エンド下げる 2) 起伏上操作にて「上」エンドまでの時間を測定する 7) 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左)	
2. ブーム伸縮速度 1) ブームを全縮状態で起伏上操作により「上」エンドまで上げる 2) 伸縮操作により「伸」エンドまでの時間を測定する 3) 縮操作により「縮」エンドまでの時間を測定する	
3. ブーム旋回速度 1) ブームを全縮、起エンドの状態にする 2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する 3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	
4. 首振り速度 1) 首振り操作にて右エンド～左エンドまでの作動時間を測定する 2) 首振り右操作、左操作共に行なう	
5. プラットフォーム旋回速度 1) ブームを全縮、起エンドの状態にする 2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する 3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	

※3. 走行速度測定方法

〔測定要領〕

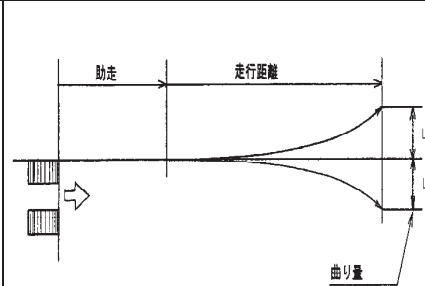
- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
 - 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
 - 3) 車両が最大速度になるまで助走させる
 - 4) 速度が安定した走行区間の速度を測定する
- ※ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を



※4. 走行直進性測定方法

〔測定要領〕

- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
- 3) 車両が最大速度になるまで助走させる
- 4) 最高速度で約10m走行させ曲がった距離を測定する

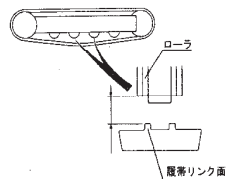


※5. 履帯たわみ測定方法

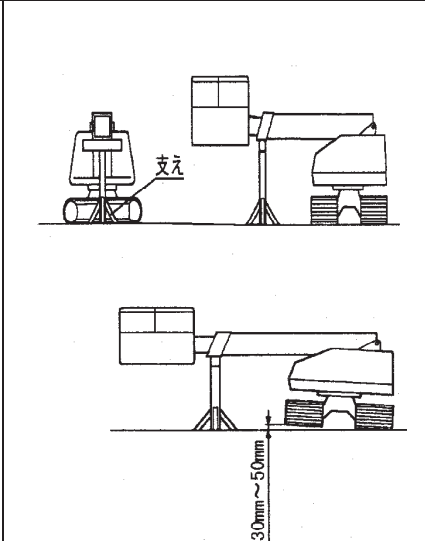
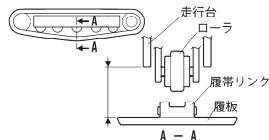
〔測定要領〕

- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- 2) 第1ブーム先端部に支柱セットする
- 3) ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から30mm～50mm浮かせたわみ量の測定をする

1. SR10A、SR12B
SR18/21A スペック (AQ*、AQ***)



2. SR18/21A スペック (*S***)



※6. 作業半径測定方法

〔検査機器〕

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重垂
4. 水系

※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります

〔測定例 L-MAX〕

※測定はL-MAX（ブーム全伸長）の他にL-MIN（起伏角水平）があります。
詳細はサービスマニュアルを参照してください

- 1) 車両を水平堅土上にセットする
- 2) ジャッキにより全タイヤを地切りさせる
- 3) 車体は前後左右水平にセットする
(張り幅によって測定値、測定方法が異なります)
- 4) バケットにウエイトを積載する
(機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと)
- 5) ブームの操作は下操作で行なう
- 6) ブーム操作は低速にて行なう
- 7) ブームが自動停止した作業半径を測定する
- 8) 規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行なわないこと
- 9) 測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと

